

老健にいがた

2022. 2 Vol.50

第50号



夢眠あきは ご利用者様の作品です

目次

巻頭言	1	特集2:地域の介護予防を担って~誰でも楽しく運動を~	7~8
協会だより	2	こんなことやってます!!~会員施設の取り組み~	9~12
コロナ禍における各施設の状況アンケート	3~4	老健マップ	13~14
特集1:入所時の検査とゾーニングによる新型コロナウイルス対策	5~6	みんなの広場	15

巻頭言

変わりゆく社会の中で ～老健はどう変革が必要か～

新潟県介護老人保健施設協会 理事

やすらぎ園 理事長 荒川 太郎



老健にいがたも50号を迎えた。病院への社会的入院の解消の為に家庭との中間施設として老健が誕生して以来、制度の変遷と現場の思いを繋げてきた。コロナ禍で各施設間の職員が集まる機会がめっきり減る中、情報発信としての役割はより大きなものと感じている。新型コロナウイルスのパンデミックから3年目を迎え、日々感染拡大の予防に努めている皆様のご努力に、感謝と共に只々頭が下がる思いである。今新たな変異株オミクロン株の流行も懸念される中、3回目のワクチン接種も本格的に始まり、まだまだこの先この状況は続くと考えられる。

令和3年11月岸田新政権の下、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策2021」が閣議決定された。コロナ対策と生活支援に加え、「新しい資本主義」、「成長と分配」という言葉が目にとまる。コロナの給付金や接触アプリ「COCOA」の運用トラブル等で日本の行政機関におけるデジタル化の遅れが露呈された中、令和3年9月にデジタル庁が設置された。「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、いわゆる都市と地方の差を、デジタル社会を推進しながら縮め、日本経済を活性化させる。また2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた積極的な温暖化対策を通じて、産業構造や社会構造の変革をもたらす大きな成長に繋げることが喫緊の課題とした。デジタル、クリーンエネルギー、人工知能、量子、バイオ、宇宙の先端技術やイノベーションに関わる投資、人への思い切った投資により生産性を上げていくことが、成長と分配の好循環に繋がるとしている。

介護の世界にもデータに基づく科学的介護の推進（LIFE）が2021年改定の目玉となり、各施設でも対応に追われている。急速な高齢化が進む日本の介護領域での人材不足は深刻で、今後、IT・デジタル技術の活用は必須である。すでに先進的な取り組みを始めている施設もあるが、まだまだ始まったばかりだ。この課題解決の為に、将来を担う若者の発想力や実行力を生かして民間企業と協同したイノベーション創出型ハッカソン（アイデアを競い合うイベント）も全国各地で開催されている。

近年の老人保健施設の運営はよりきめ細やかさが要だ。コロナ禍の感染症予防対策は標準装備となった。さらに様々な施設の形が示され、地域の中での自施設の目指す位置を明確にし、それに見合った業務の効率化と専門性、他施設との連携の工夫が求められる。コロナを通じてあっという間にZoom等の手法は浸透した。介護の世界ではどうしても人間の力でできないものが多い。デジタル化の浸透はまだ先のように考えていたものの想像以上に社会からの変化への要請の動きが強くなり、そうも言っていられない状況になりつつある。この業界でのDX（デジタルトランスフォーメーション）はどうなっていくか。他の産業同様、大きな変革が必要になるかもしれない。



令和3年度 介護老人保健施設事業功労厚生労働大臣表彰

厚生労働省では、長年にわたり介護老人保健施設関係事業の発展向上に貢献し、老人保健福祉行政の推進に顕著な功績があった者に対して、厚生労働大臣がその功績をたたえ、その功労に報いるとともに、老人保健福祉行政の推進に寄与することを目的として表彰を実施しております。令和3年11月27日、令和3年度の発表があり、会員施設より2名の方が受賞されました。おめでとうございます。

老人保健施設にいがた園 吉野 達夫 様
介護老人保健施設女池南風苑 阿部千賀子 様

令和3年度 公益社団法人全国老人保健施設協会表彰

表彰は、全国老人保健施設大会で行うこととされていますが、令和3年11月に予定しておりました「第32回全国介護老人保健施設大会 岐阜」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に開催中止となり、そのため本年度は代表者表彰を12月7日に行いました。会員施設より、個人表彰1名、施設表彰4施設が受賞されました。おめでとうございます。

【個人】 介護老人保健施設ケアポートすなやま 松田 由紀夫 様

【施設】 介護老人保健施設女池南風苑 介護老人保健施設やまぼうし
介護老人保健施設ぶんすい 介護老人保健施設あかつか苑

研修会報告

令和3年度「新型コロナウイルス感染症対策研修会」

今回の研修会は、新潟県介護老人保健施設協会が開催するもので初めてのオンラインでのライブ研修会でした。題材も新型コロナウイルス感染症対策研修会ということで、49施設111人が受講されました。看護職員を中心に多職種からも参加があり、各施設ともに関心の高さが覗えました。

前半は、MS&ADインターリスク総研株式会社より丸山純子様を講師としてお招きし「高齢者介護施設等における感染対策～新型コロナウイルス感染症を中心に～」と題して講義形式での研修でした。丸山講師は「・持ち込まない・広げない・持ち帰らない」など各場面での事例を交えた対策の他、ワクチン接種の重要性についても講義がありました。

また後半は、感染症対策についてのグループワークを行いました。施設の現状や抱えている課題、取り組みなどの情報交換を行いました。各施設の感染症対策を共有することで、新たな気づきや学びが多く、有意義な時間となったようです。

開催日：令和3年7月12日（月）
参加施設：49施設
参加人数：111人

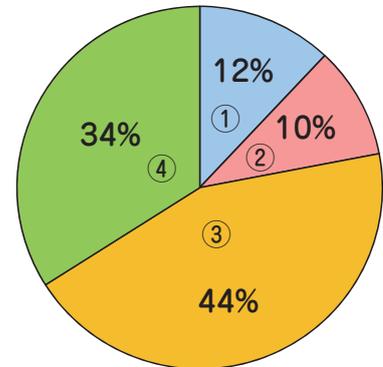


コロナ禍における各施設の状況アンケート結果報告

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化し、変化する情勢の中で会員各施設はご利用者の健康維持と生活の質の向上のため、日夜努力されていることと存じます。そのような情報を交換する場が限られている現状において、当協会広報委員会としては、広報誌「老健にいがた」にて会員施設にとって有益な情報を発信させていただきたく、アンケートを実施させていただきました。回答施設50 / 91 回答率54.9% (令和3年11月15日時点での状況)

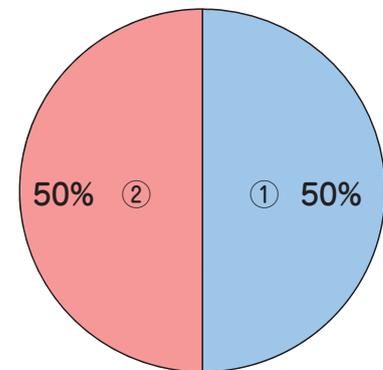
Q1 施設類型

項目	数	%
①超強化型	6	12%
②在宅強化型	5	10%
③加算型	22	44%
④基本型	17	34%
合計	50	100%



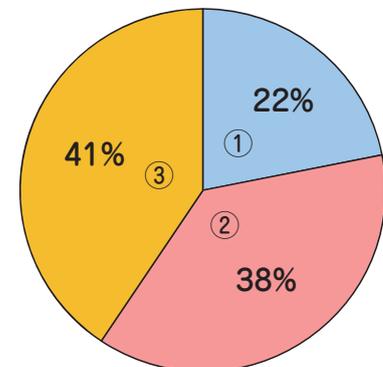
Q2 地域貢献活動の取組状況

項目	数	%
①取り組んでいる	25	50%
②取り組んでいない、現在休止中	25	50%
合計	50	100%



Q3 地域貢献活動の内容（実施中の施設が回答 複数回答あり）

項目	数	%
①認知症カフェ	7	22%
②教室、講座	12	38%
③その他	13	41%
合計	32	100%



その他の内容

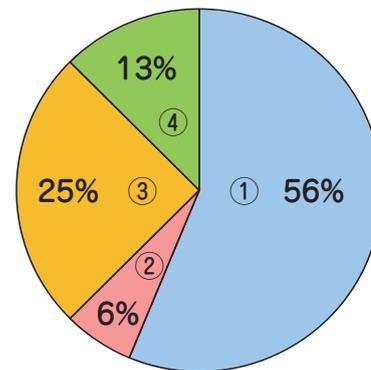
- ・ 外部への講師派遣
- ・ 地域の活動へ参加
- ・ 開放型リハビリ
- ・ 地域への情報発信
- ・ 地域の環境整備
- ・ 訪問リハビリ事業
- ・ ボランティア活動
- ・ 地域住民と共同した弁当配食

活動内容の紹介

- ・ 認知症カフェ：作品作り、ゲーム、体操、座学、隣接特養と協力
- ・ 教室、講座：近隣高齢者向けのオムツ講座、介護予防教室、家庭介護教室、腰痛予防体操教室
医師による健康セミナー、認知症サポーター養成講座の講師、近隣老人会への参画、臨床美術
高齢者への管理栄養士による栄養指導、リハビリ職員による集団・個別リハビリ・嚥下指導、相談受付（市の委託事業）
- ・ ボランティア活動：海岸清掃、歩道の清掃、マラソン大会のスタッフ、地域住民と一緒に清掃活動や草取り
- ・ 食事関係：地域住民グループと管理栄養士とでコミュニティーセンターで調理し、自宅まで弁当を配食
管理栄養士が監修の地元企業とのコラボ弁当・惣菜企画

Q4 地域貢献活動の実施方法（実施中の施設が回答 複数回答あり）

項目	数	%
①対面	18	56%
②オンライン	2	6%
③書面等による情報発信	8	25%
④その他	4	13%
合計	32	100%

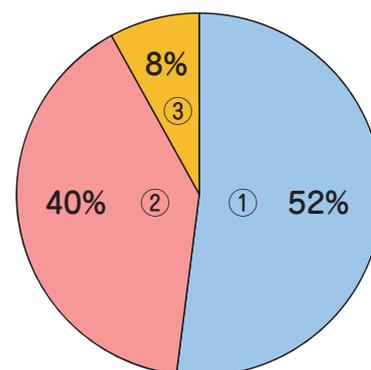


その他の内容

- ・屋外活動 ・活動への参加
- ・高齢者の食事の紹介（地元企業とのコラボ弁当・惣菜） ・配食
- ・地域の相談窓口のアナウンス ・地域への広報

Q5 地域貢献活動に取り組んでいない、または休止中の理由

項目	数	%
①在宅復帰・在宅療養支援等指標の評価項目として求められていない	13	52%
②取り組んでいたが、コロナ禍で休止している	10	40%
③その他	2	8%
合計	25	100%

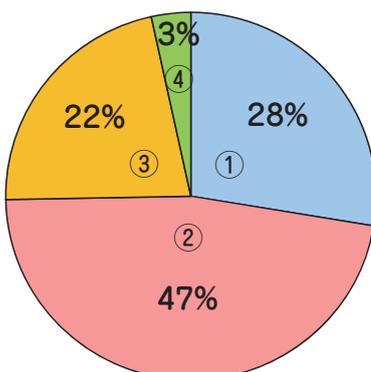


その他の内容

- ・活動を開始する予定であったが、コロナ禍により着手せず
- ・コロナ禍の中でどう取り組むか模索中

Q6 面会の実施状況（複数回答あり）

項目	数	%
①対面での面会（アクリル板設置等の条件付き）	24	28%
②オンライン面会（テレビ電話含む）	41	47%
③窓越し面会	19	22%
④その他	3	3%
合計	87	100%

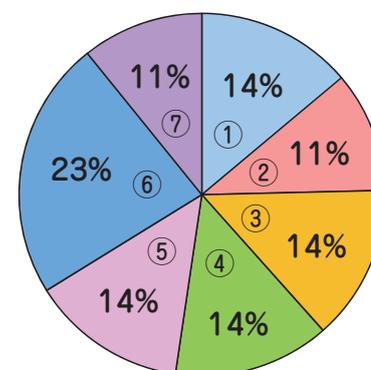


その他の内容

- ・看とり対応時に実施
- ・病状説明時、状態変化時に実施

Q7 入所受け入れ時の特別な対応（複数回答あり）

項目	数	%
①入所前又は入所時のPCR検査	9	14%
②入所前又は入所時の抗原検査	7	11%
③入所前又は入所時のレントゲン検査	9	14%
④入所後一定期間の隔離	9	14%
⑤送迎時の個別対応	9	14%
⑥その他	15	23%
⑦特別な対応はしていない	7	11%
合計	65	100%



その他の内容

- ・利用者や家族のワクチン接種状況の確認、
- ・利用者や家族の健康状態、行動歴、県外家族との接触有無の確認
- ・食事席の配慮、送迎時の検温

アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

入所時の検査とゾーニングによる新型コロナウイルス対策

介護老人保健施設保倉の里 事務長 高波 進

はじめに

自分たちの仕事にプライドを持ち、
「絶対にコロナを持ち込まない、持ち込ませない！」という気迫で臨もう。

上記は新潟県内で初めて新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」という。）の感染者が確認された令和2年2月、その節に理事長が職員に述べた訓示です。当施設の新型コロナ対策はこの訓示を原点に始動し、現在も保持して対策を講じています。

当施設の新型コロナ対策は、他の老健施設同様、多岐にわたるものとなりましたが、幸いこれまで、利用者様及び職員の「感染者ゼロ」を維持しています。

この度、新潟県介護老人保健施設協会からご依頼をいただき、当施設の新型コロナ対策において、特に注力した水際対応（＝「絶対にコロナを持ち込まない、持ち込ませない！」）「入所時の検査」と「ゾーニング」の取り組みを紹介させていただきます。

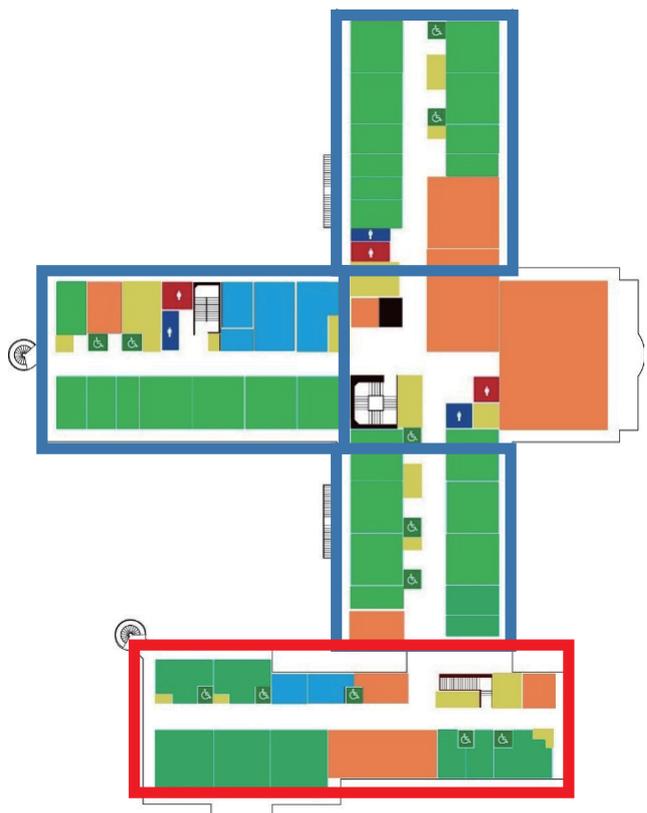
施設の概要

当施設は上越市浦川原区に平成13年に開設し、入所定員95名、通所21名、診療所を併設した施設です。入所サービスにおいては、ユニット型の構造ではありませんが、下記平面図で示すとおり、入所スペースを4つに区分して、それぞれに職員を固定配置し、グループごとに独立したケアを提供しています。

運営母体は社会福祉法人くびき社会事業協会です。法人設立から40年を超え、県内でも古い歴史を持つ有数の法人で、福祉や介護サービスの経験が豊富な職員が多いことが特徴です。

右図の赤枠で囲った区域は、後述するゾーニング（感染症管理区域）を構築した区域です。この区域は平成22年に増築したもので、隣接区域との境は渡り廊下で仕切られ、他の区域を通ることなく1階へ往来できる構造となっています。

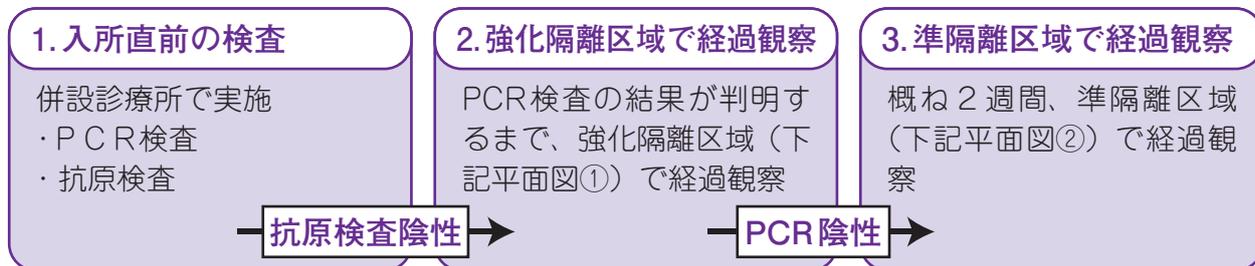
なお、この区域の1階部分に併設診療所があり、新型コロナ対策においては、検査はもちろん、職員研修などの分野でも法人を主導しています。



新型コロナ対策：入所時の検査とゾーニングの紹介

ご利用者様が入所される際は、「入所時の検査」と「ゾーニング」を併用し、新型コロナウイルスの持ち込みを防ぐ取り組みを実施しています。その取り組みを紹介いたします。

■入所時の検査とゾーニング区域における経過観察の流れ



※PCR検査は結果判明に数日を要するため、抗原検査が陰性であれば、入所していただく。

各検査が陽性の場合には保健所へ連絡

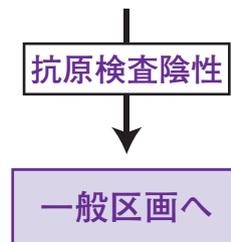


(写真：入所直前の検査)

※強化隔離区域でのケアは担当者を限定し、防護具を着用している。入所直前のPCR検査の結果が陰性と判明すれば準隔離区域（下記平面図②）に転室していただく。

入所直前の検査は、入所される方の居住地に職員が迎えに行き、その足で診療所に立ち寄って検査（ドライブスルー形式）を行います。ご利用者様のご理解、診療所が併設されている環境、行政の検査助成制度により、このような体制が成り立ちました。

※概ね2週間の経過観察後に再度抗原検査を実施し、陰性であれば、一般区域（前頁：平面図青枠）に転室していただく。

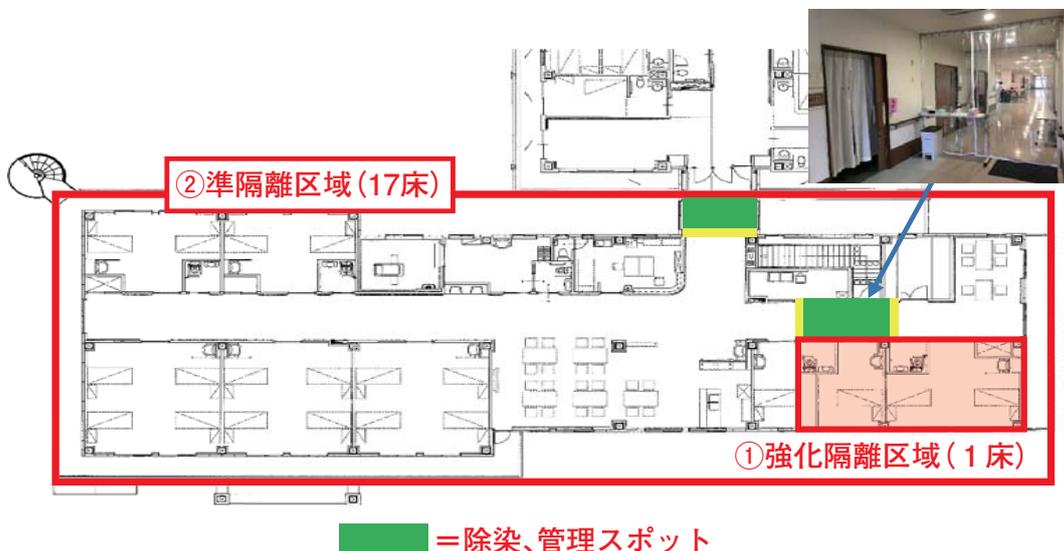


■ゾーニング区域について（令和2年6月から実施）

上述したとおり、入所後概ね2週間、ご利用者様を経過観察するための区域として、施設の全4区画のうち1区画を「感染症管理区域」として指定し、その区域内に下記平面図のとおり①強化隔離区域（1床）、②準隔離区域（17床）を設けています。

また、他区域との通路や強化隔離区域への入口には、間仕切を設置したうえ、除染等を行う器具を設置し、汚染区域、準汚染区域、清潔区域を明確にして対応しています。

(写真：強化隔離区域の管理スポット)



地域の介護予防を担って～誰でも楽しく運動を～

介護老人保健施設入舟 理学療法士 梅澤 淳一

当施設で2018年6月より開始した「Re-Fine下町」。開設当初は1日の利用人数が10人にも満たなかったところ、現在では1日平均でも15人を上回り、多い日には20人以上にご利用いただいています。地域の方の交流の場にもなっており、既知の方同士で誘い合わせて利用したり、新しい交友関係が出来たりと、体力づくりだけではなく、心温まる場としても活用されています。

「Re-Fine下町」は「通所リハビリテーション入舟」（以下、通りハ入舟）で使用しているトレーニング機器を、介護保険非該当相当の身体機能がある方にも利用してもらえ「場」として開設しました。その趣旨としては、「地域住民の健康維持及び要介護状態となることを予防する」ことです。昨今の介護保険法改正では、要支援者の総合事業等への移行などが盛り込まれ、公的に受けられるサービスが減少してきています。その一方では、自助や共助による介護予防の推進も語られ、自らの健康を自分たちで何とかしなければならない、というような状況になってきています。また、友の会（当施設が所属している法人へ出資をして頂いた方々の会）会員より、兼ねてから「リハビリ室の設備を使わせて欲しい」という要望が挙がっていたこともあり、これらをきっかけとして「Re-Fine下町」の開設準備が始まりました。

元々、「通所リハビリ」では1時間半の通所リハビリを午前中のみ提供しており、午後は介護老人保健施設入舟（以下、老健入舟）に入所されている方のリハビリを行う場として使用していました。その内、午後の2日間を「Re-Fine下町」として活用することとし、利用方法としては、巷のスポーツ・トレーニング施設のように原則自主的に運動を行っていただくこととしました。また、通常のリハビリでは医師の指示を必要としますが、この事業についてはリハビリ職員が直接介入するわけではないため、必ずしも医師の指示を必要としません。しかし、マシントレーニング等負荷のかかる運動を実施する関係上、利用者の健康状態を把握しておく必要があるため、定期的に健康診断の結果を提出していただいています。その他にも利用開始前には、基本的な情報（氏名・年齢・住所や緊急時の連絡先、持病や既往歴、運動歴、利用目的、かかりつけ医等）を登録していただき、施設の利用規約に対する誓約書も提出して頂いています。また、万が一の事態に備え、施設として保険にも加入しています。

実際の運動で使っていただく主な機器は、パワーリハビリ用のマシン、自転車エルゴメータ、ウォーターベッドで、その他にも訓練用のベッドで自由に運動やストレッチ等をされる方もいらっしゃいます。最近ではモニターに動画を流し、それを見ながら集団で体操をする取り組みも始めました。普段、フロア内に常駐しているのは友の会会員のボランティアの方で、機器の操作については事前にリハビリ職員から直接指導を受けていただいております。安全に使用できるようしっかり覚えていただいています。そのため、リハビリ職員が開放中に常駐することはありませんが、施設の上階で勤務しているため、必要に応じて対応することは可能です。また、初回のご利用時

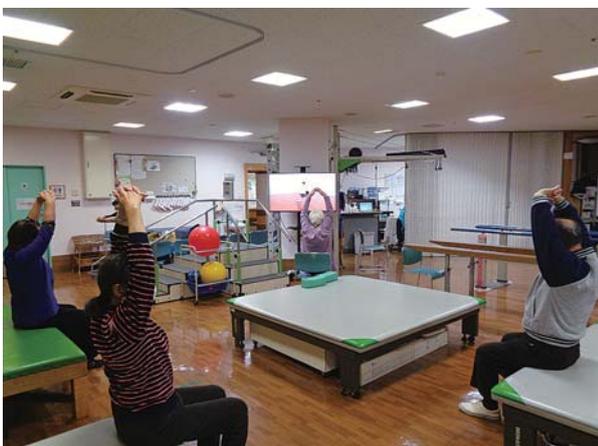
や健康相談等がある場合は情報提供等を行うこともあります。

開設当初は開放時間内であれば、自由にリハビリ室を使っていただいていたのですが、その後新型コロナウイルスの感染拡大が発生し、一時中断を余儀なくされました。しばらくの後、感染の勢いが収まってきた頃、感染対策として3密を避ける形態（時間で区切り、人数制限をかけて実施）をとり、消毒・換気・検温・マスク着用等の基本的な感染対策を利用者にもお願いした上で再開しています。時間と人数を区切ったことで、利用時間に制限がついたものの、特定の時間に人が集中することがなくなり、マシンの待ち時間等が解消されたことはかえって改善となりました。現在は1枠50分としていますが、マシンやウォーターベッド等を一通り行える程度の時間となっています。

長く当施設を利用されている方の中には、「疲れにくくなった」「検査の数値が改善した」など一定の効果を感じられている方もいらっしゃいます。2回/週という限られた回数ではありますが、日常生活の一部にまとまった運動の時間を作ることが出来ているということは、総じて日々の活動量を底上げすることにもなっていると思います。

前述の通りこの事業の対象は、介護保険非該当相当の身体機能を持った方を想定しています。その方々が、今後の生活において要介護状態とならないようにするための一助とすることが、この事業の最大の使命だと考えています。昨今「フレイル」と呼ばれる要介護状態になる一歩手前の状態が注目されており、そこから健康に戻れるか、要介護状態になるかはその後の過ごし方にかかっています。一旦、要介護状態になってしまうと以前の健康を取り戻すことは困難な場合が多いですが、「フレイル」であれば、努力次第ではまた健康を取り戻すことも可能です。そのためにも、要介護状態になる前に「予防」するということが非常に重要なことです。

「Re-Fine 下町」では「運動」と「社会参加」（主に他者との交流）というフレイル予防のための2項目を満たすことが出来ます。そのため、これからも沢山の方々に使って頂き、「運動と交流の場」を提供することで、地域の方々が健康で元気に過ごせるよう活動を継続していきたいと思っております。



コロナ禍でも楽しい行事を

あかつか苑
支援相談員 遠藤 正樹



あかつか苑は新潟市の西部に位置し、近くにはラムサール条約の登録湿地に指定された佐潟があり、周辺には大根やネギ、スイカ、メロン等の畑が広がる豊かな自然環境の中にあります。

一昨年から続く新型コロナ対策のため、当苑ではご家族やボランティアを招いての賑やかな行事は行えていません。このようなコロナ禍の制限下にあります。いかに入所者の皆様から楽しんでいただけるか、喜んでいただけるかを考え工夫しながら行事を行っています。

例をあげますと、春には入所者の皆様からさつま芋の苗を植えていた

だき、秋に収穫した芋で芋きんとん作りをしたり、気候の良い時期に施設屋上で日光浴をしたりしました。また、9月の敬老会では、職員が二人羽織等の出し物を披露して盛り上がりました。

コロナ禍の収束はまだ見通せませんが、創意工夫しながら入所者の皆様を笑顔にできるよう職員一同努力していきたく思います。



自分らしい生活を

アビラ大形
支援相談員 石本 洋平

当施設は新潟市東区の阿賀野川に架る泰平橋手前に位置し、平成9年に開設しました。ご利用者のニーズにきめ細やかに応えながら、自分らしい日常生活を快適に送れるよう、サービスの提供を行っております。

当施設では作業療法を兼ねた余暇活動の一環として創作活動を行っております。職員だけでなくご利用頂いている皆様と一緒に作品のテーマを考え、ご自分のことからそれぞれの役割を分担し、役割に応じた作業に取り組まれております。完成した作品は廊下に展示させて頂き、来所されたご家族や関係者の方々にもご覧頂くことで皆様の作品作りに対するモチベーションの向上にも繋がっております。

また、レクリエーションや行事イベントではご利用者様がゲーム感覚で参加され、体操やリハビリ以外でも自然に運動に取り組むことが出来るようプログラムを作成しております。

これからも、入所サービスでの在宅復帰支援や通所リハビリテーションでの在宅生活の支援のサービスを通して皆様が自分らしい日常生活を送れるよう、一層努めて参りたいと考えております。



利用者様の笑顔のために

愛宕の里
介護福祉士 長谷川 真美

愛宕の里は、五泉市村松に位置し、周囲を山や田畑に囲まれたとても自然豊かな場所にあり、近くには日本桜名所100選にも選ばれている村松公園もあります。

コロナ禍の為、ご家族の皆様にも会えない状況が続いています。しかし、全国的な制限緩和により11月1日から対面での面会が許可されました。今までは、リモート面会の為パソコンの画面越しでしたが、直接お会いしてご家族様とお話し出来るようになりました。



愛宕の里では、天気の良い日に中庭に出てお花を植えたり、草取りのレクリエーションを行っています。作業をしている時は、皆様一生懸命であつという間に終わってしまいます。短い時間ですが、久しぶりに外に出る事で、とても喜んでいる方や楽しみにしている方がほとんどです。また、10月には職員で考えたハロウィンパーティーを行いました。感染症の影響により、ご家族の皆様を施設にお呼びする事は出来ませんでした。利用者様と職員が仮装をするという初めての試みを行いました。当日には、お化けの被り物やかわいい飾りを気に入っている様子でした。職員による歌の余興を行い、感動して涙している利用者様もいました。

コロナ禍で、利用者様やご家族様には制限があり、不便を感じさせてしまう事も多々ありますが、感染対策をしっかりしながら、少しでも楽しく施設生活を送って頂けるように、職員一丸となって支援していきます。

こころも身体もリフレッシュ

晴和会田上園
事務長 小林 栄蔵

当施設は、2007年に開設し「在宅の継続性」をモットーに、ご利用者が自分らしく生活できるよう支援し、趣味やこだわりなどを大切に、施設でどのように継続できるか多職種で取り組んでいます。

現在、コロナ禍のなか外出や行事など制限がありストレスを感じる場面もあります。少しでも気持ちが落ち着きリフレッシュできるよう、アロマテラピーでの芳香浴やマッサージなどを定期的に提供しています。

アロマテラピーは、精油によって効果・効能・香りが異なります。田上園ではアロマセラピストの資格を有している職員が状態、状況に応じて精油の選定を行い、ご利用者と会話や香りを楽しみながらマッサージなど行っています。個別でスキンシップを図ることで、普段言い出せないことが表出できたり、表情の変化が見られたりと、関係性の構築にも繋がっています。

コロナ禍をマイナスに捉えず、今できること、今楽しんでいただけることをプラスに考え、ご利用者が笑顔で生活できるよう余暇活動を充実していきたいと思えます。



作詞は入所者様

はねうまの里
事務員 鶴巻 洋之

はねうまの里には、入所者様が作詞された歌があります。

現在はコロナ禍で中断していますが、音楽療法を開設時からずっと続けており、ボランティアで来ていただいているピアノの先生に作曲をしていただきました。

入所者様に作詞されたときのお話を伺ったことがあります。他の入所者様の中に笑顔が見られない方がおられ、何かできることはないかと作詞を始められたそうです。入所者の皆様が高齢であること、認知症の方もいらっしゃることから、何度も何度も書き直し、分かりやすく簡単に短い詩にしたそうです。

これからも、入所者の皆様が跳馬のように元気で過ごしていただけるよう、歌い継いでいきたいと思います。

はねうまの里
一、春が来たかよ はねうまの里に
さくら咲いた 咲いた はねうまの里
みんなで元気に はねうまの里

(詩は春夏秋冬四番まであります)

~二王子秋祭りを開催しました!!~

二王子
介護福祉士 長谷川 瑠菜

当施設では、医療、介護、リハビリテーションを行いながら天然温泉を利用し健康回復、機能回復、日常生活復帰のための生活支援を行っております。

施設での生活となった入所者様に季節を感じていただき入所者様同士の交流、喜びや楽しみを感じて笑顔になって頂くために、年間を通して沢山の行事を行っております。その中でも施設全体で開催している行事は二王子秋祭りです。コロナ禍でなかなか大きな行事が出来ない中、各部署、施設全体で協力し色々な催し物を考え計画を立て実施しました。ひもくじ、秋の味覚秋刀魚釣り、玉入れ、作品作りコーナー、映画上映会などお祭りならではの法被や豆絞りを着て職員と一緒に写真撮影をしたりし、入所者様に喜んで頂き沢山の笑顔がみられ、盛り上がりました。入所者様からは「こんな楽しい会をありがとう。」と涙ながら感謝の声も聞かれ大満足な一日になりました。



ずっと もっと 元気でいてほしい

槇の里
介護福祉士 笹岡 英美

当施設は新潟市8区の最も西側（旧巻町）角田山・弥彦山の麓に位置し、緑豊かな自然の中にあり、新潟西蒲メディカルセンター病院に併設しています。

11月の壁画のテーマは、観光名所の「もみじ谷」と「菊まつり」です。最初は数名でのスタートでしたが、試作品の菊の花を見ているだけの方や手の痺れにより消極的だった方が興味を持たれ、徐々に参加者も増えました。花びらを2種類にしてみても？折り紙以外の素材を使ってみても？ヒネリを入れてみるも？といろいろなアイデアが皆様から生まれ、デザインの違う沢山の菊の花が出来上がりました。また、朱色の観月橋と真っ赤な紅葉を思い浮かべ、弥彦神社で七五三の祝いをした事など会話も弾み、「また行きたい」と目標を掲げる声も聞かれていました。

完成作品をご覧になった皆様の表情は明るく、「わあ～素敵」「大したものだ」と拍手をされ達成感に満ちた姿が印象的でした。

今後も個別や集団での活動を通じて、同じ時間を過ごす楽しさや活気ある雰囲気をつかち合い、皆様が笑顔で過ごせるよう取り組んでいきたいと思っています。



食べることは正義

夢眠あきは
事務課長 織田 浩之

当施設は、新潟市の名峰、秋葉山を望む環境に在り、景観眺望に恵まれ、穏やかな時間を過ごすには好適な環境にあります。

高齢になるにつれて昔のように思った通りに体が動かせず、意欲が湧かない、やる気がでない、そんな思いを食えることから少しずつ改善していく取り組みを私たち夢眠あきはでは行っています。

日々の食事提供とは別に、おやつレクを頻繁に開催し、普段のメニューには出てこない物を召し上がって頂いております。これまでに、かっぱえびせん、ポテトチップス、チョコレート、せんべい、クッキーと色々なものを提供しましたが、一番好評だったのはバニラアイスクリームでした。「とっても美味しい！もっと食べたい!!」「冬でもアイスクリームがいいわ♪」そんな声を多くの方から頂戴しております。



利用者様の笑顔は、職員のモチベーションを高め、質の良い支援に繋がります。私たちが当たり前のように食べている物でも、入所していたら頻りに食べられない物がたくさんあります。

利用者様には、いつでも食えることへの楽しみを忘れず、自宅に戻ったらこんなに美味しいものがいつでも食べられるという思いを伝え、在宅復帰の支援に繋げて行きたいと考えています。

新潟県 老健マップ

新潟地区	2	あかつか苑	950-2261	新潟市西区赤塚	025-239-0021
	3	阿賀の庄	959-2221	阿賀野市保田	0250-68-1700
	4	夢眠あきは	956-0827	新潟市秋葉区大関	0250-25-3331
	5	あすか	950-1122	新潟市西区木場	025-377-1771
	6	愛宕の里	959-1707	五泉市村松	0250-58-6891
	7	アピラ大形	950-0802	新潟市東区一日市	025-272-1212
	14	入舟	951-8011	新潟市中央区入船町	025-224-9064
	15	いむろの里	953-0103	新潟市西蒲区橋本	0256-82-5040
	20	大江山園	950-0105	新潟市江南区大洲	025-276-2801
	21	おぎの里	956-0012	新潟市秋葉区狹野町	0250-25-3071
	23	尾山愛広苑	950-3304	新潟市北区木崎	025-388-6100
	24	回生園	959-0425	新潟市西蒲区押付	0256-70-4400
	25	亀田園	950-0168	新潟市江南区早通	025-383-1777
	30	くわの実の郷	950-0036	新潟市東区空港西	025-278-7719
	34	ケアポートすなやま	950-2044	新潟市西区坂井砂山	025-268-9000
	36	健進館	956-0025	新潟市秋葉区古田	0250-23-5152
	38	江風苑	950-3364	新潟市北區大迎	025-387-7111
	40	こばり園	950-2022	新潟市西区小針	025-232-0200
	41	五頭の里	959-2093	阿賀野市岡山町	0250-62-2780
	50	白根ヴィラガーデン	950-1203	新潟市南区大通黄金	025-362-0777
	51	しんあい園	950-2076	新潟市西区上新栄町	025-230-5522
	53	健やか園	950-2023	新潟市西区小新	025-232-5300
	56	晴和会上所園	950-0993	新潟市中央区上所中	025-280-0800
	61	第二にいがた園	950-1144	新潟市江南区祖父興野	025-285-1800
	62	千歳園	950-0965	新潟市中央区新光町	025-285-7500
	65	常盤園	950-1262	新潟市南区西白根	025-373-1211
	69	にいがた園	950-0951	新潟市中央区鳥屋野	025-283-0377
	74	ほほえみの里きど	950-0891	新潟市東区上木戸	025-275-1121
	75	横の里	953-0041	新潟市西蒲区巻甲	0256-72-0331
	78	マチュアハウス横越	950-0217	新潟市江南区阿賀野	0250-61-5050
	79	松浜さくら園	950-3112	新潟市北區太夫浜	025-258-3993
	81	三川しんあい園	959-4626	阿賀町あが野南	0254-99-5111
	82	みずき苑	950-1215	新潟市南区助次右工門組	025-372-2193
	83	みそのぴあ	950-2002	新潟市西区青山	025-267-0178
	84	みどりケアセンター	950-0983	新潟市中央区神道寺	025-244-0080
85	女池南風苑	950-0943	新潟市中央区女池神明	025-284-3411	
86	めぐみ園	959-0516	新潟市西蒲区国見	0256-70-5311	
90	有楽園	950-0012	新潟市東区有楽	025-274-8400	
92	陽光園	950-0923	新潟市中央区姥ヶ山	025-286-8100	
96	緑樹苑	950-0983	新潟市中央区神道寺	025-244-6100	

佐渡地区	1	相川愛広苑	952-1646	佐渡市相川大浦	0259-61-2800
	22	親里	952-0015	佐渡市住吉	0259-24-7310
	44	さど	952-1211	佐渡市中興乙	0259-61-1111
	54	すこやか両津	952-0006	佐渡市春日	0259-23-5171

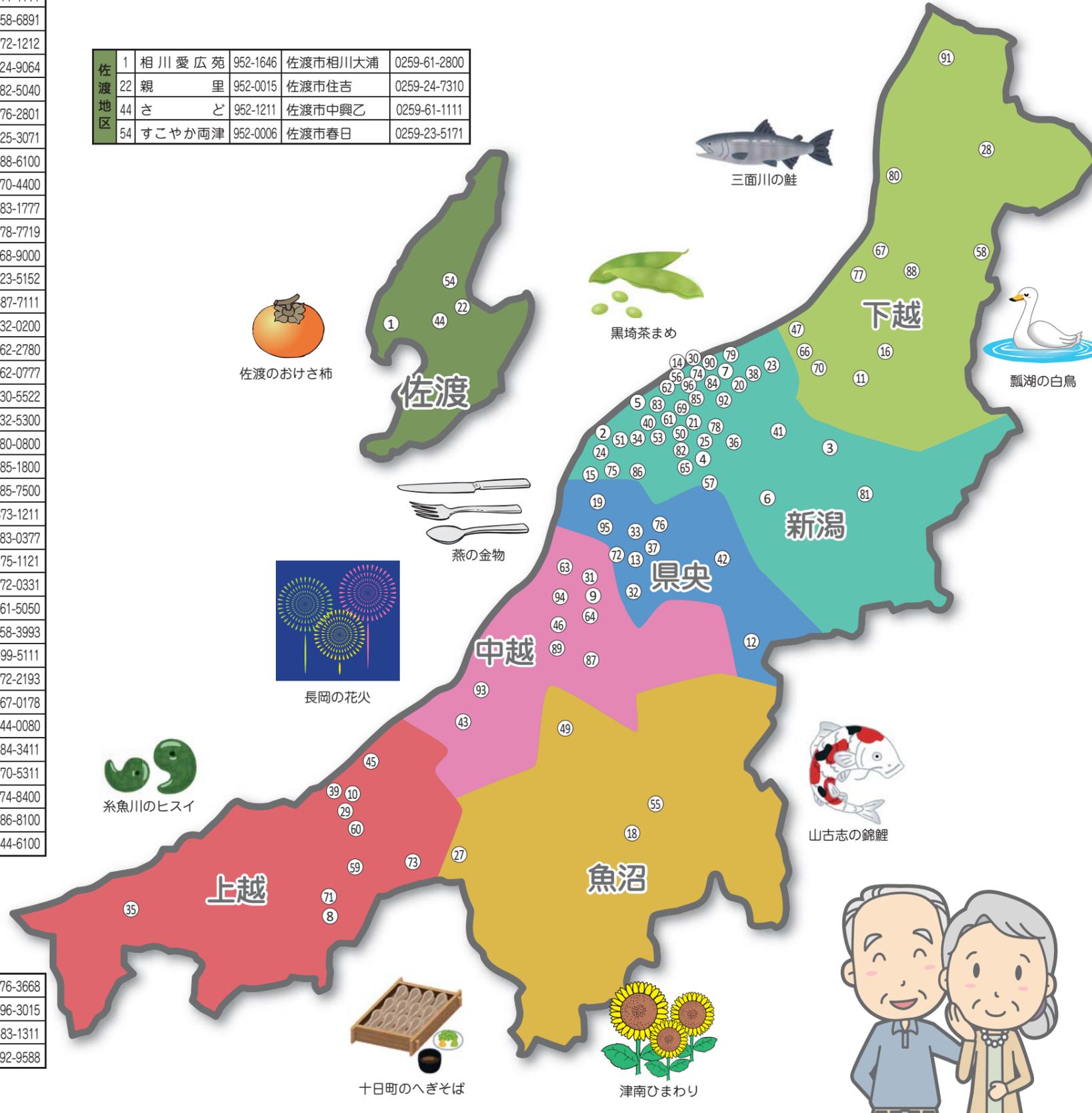
下越地区	11	いいでの里	957-0014	新発田市金谷	0254-22-5802
	16	ヴィラ菅谷	959-2516	新発田市下石川	0254-31-2000
	28	杏園	958-0261	村上市猿沢	0254-60-2222
	47	汐彩の郷	957-0105	聖籠町次第浜	0254-28-0555
	58	関川愛広苑	959-3261	関川村湯沢	0254-60-4025
	66	豊浦愛広苑	959-2311	新発田市荒町甲	0254-21-0065
	67	中条愛広苑	959-2619	胎内市十二天	0254-46-5600
	70	二王子	957-0332	新発田市虎丸	0254-25-3737
	77	マチュアハウス中条	959-2708	胎内市中村浜	0254-45-5111
	80	三面の里	958-0854	村上市田端町	0254-53-5330
88	やまぼうし	959-2805	胎内市下館	0254-47-3303	
91	優和の里	959-3942	村上市勝木	0254-60-5000	

県央地区	12	いっぶく	955-0132	三条市長野	0256-41-3810
	13	いっぶく2番館	959-1117	三条市帯織	0256-45-0380
	19	エパーグリーン	959-0211	燕市富永	0256-92-3030
	32	ケアプラザ見附	954-0052	見附市学校町	0258-63-5100
	33	ケアホーム三条	955-0833	三条市大野畑	0256-32-7711
	37	好日庵	955-0862	三条市南新保	0256-33-2787
	42	さくら苑	959-1327	加茂市千刈	0256-53-5353
	57	晴和会田上園	959-1512	田上町羽生田乙	0256-46-7777
	72	ぶんすい	959-0113	燕市笈ヶ島	0256-91-3333
	76	マザリー三条	955-0053	三条市北入蔵	0256-38-7500
95	「楽楽」	959-1263	燕市大曲	0256-62-2671	

中越地区	9	あらまち	940-0025	長岡市泉	0258-30-0388
	31	グリーンヒル与板	940-2416	長岡市与板町横原	0258-72-2500
	43	さつき荘	945-1355	柏崎市軽井川	0257-23-6255
	46	サンプラザ長岡	940-2111	長岡市三ツ郷屋町	0258-27-1515
	63	てらどまり	959-0152	長岡市寺泊下桐	0256-97-3200
	64	桃李園	940-2126	長岡市西津町	0258-47-3003
	87	やすらぎ園	940-1111	長岡市町田町	0258-33-5551
	89	悠遊苑	940-2138	長岡市日越	0258-47-8511
	93	米山爽風苑	945-1392	柏崎市茨目	0257-22-0111
	94	楽山苑	940-2301	長岡市宮沢	0258-42-3500

上越地区	8	新井愛広苑	944-0331	妙高市小原新田	0255-81-1181
	10	アルカディア上越	943-0172	上越市大道福田	025-524-3171
	29	くびきの	943-0834	上越市西城町	025-526-2161
	35	ケアポートよしだ	941-0067	糸魚川市横町	025-553-2682
	39	国府の里	942-0081	上越市五智	025-544-2525
	45	サンクス米山	949-3255	上越市柿崎区上下浜	025-536-6622
	59	そよかぜ倶楽部	943-0864	上越市今泉	025-522-8700
	60	高田の郷	943-0147	上越市新南町	025-526-2558
71	はねうまの里	944-8501	妙高市田町	0255-72-3199	
73	保倉の里	942-0314	上越市浦川原区顕聖寺	025-599-3990	

魚沼地区	18	越南苑	949-7101	南魚沼市五日町	025-776-3668
	27	希望の里松涛園	942-1342	十日町市浦田	025-596-3015
	49	春風堂	947-0043	小千谷市山谷	0258-83-1311
	55	清流苑	946-0031	魚沼市原虫野	025-792-9588



当協会会員施設 各地区会員番号順表記 (R4.2時点)

み

ん

な

の

広

場

あかつか苑

9月の敬老会で、春から準備して入所者の皆様と作り上げた日本地図を展示しました。事前に日本地図とは伝えずに、何枚もの塗り絵を手分けして思うままに色を塗ってもらいました。すべての塗り絵を張り合わせるとカラフルな日本地図が完成しました。



アピラ大形

毎月、その季節に応じた作品をスタッフだけでなく、ご利用されている皆様とテーマやレイアウトについて話し合い、色紙を丸める係、色を塗る係などそれぞれ役割を分担して創作活動に参加する取り組みを行っております。



愛宕の里

通所リハビリテーションご利用者の夏のレクリエーションとして、「手形アート」を行いました。それぞれの手の大きさを比べたり、絵の具の感触を味わいながら、夜空に咲く花火が完成しました。



晴和会田上園

通所のウェルカムボードです。タイトルは「猫とサンマ」。毎月季節感を満喫できるよう、デザインや素材を工夫し、利用者様と一緒に作成しています。「まあ素敵、懐かしいわ〜」など、嬉しいお言葉をいただいております。



はねうまの里

入所者の皆様と看護学生さんとのコラボ作品です。今年の収穫を感謝するお月見。ご自宅が農家の方も多く、今年の収穫への感謝の気持ちを込めました。

月見の作法など、ご利用者から学生さんへの伝承も行われました。



二王子

当施設では、お茶会の時間に入所者様に色々な作品作りを楽しんで頂いています。その中でも塗り絵に力をいれています。

季節にあった絵に入所者様と職員と一緒に好きな色を使ってカラフルに塗り絵を楽しんでいます。一つの作品を完成させるまでに入所者様同士交流を深め、沢山の笑顔がみられ完成時には、「良くできたね。」「次はどんな作品ができるかな」など大満足の声が聞かれます。



榎の里

当施設のリハビリ室では、リハビリテーションの一環として施設内の壁飾りを季節に合わせて利用者様と職員とで作成しております。今は秋なので、イチョウや紅葉、コスモス、トンボなどを作成しました。完成したものを壁に貼ったときは、みなさん揃ってとても良い表情をされています。



夢眠あきは



93歳のご利用者様が作った作品です。最近では、寒くなってきたせいで手の動きが悪くなり、作品数が減っているそうですが、お部屋を訪問すると「何を作って欲しいですか?」と言われる程、製作意欲は満々です。

編集後記

「老健にいがた」第50号を無事に発刊することができました。原稿の依頼に際して、快く承諾していただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

一旦、落ち着きを見せたCOVID-19も変異株の出現で再び猛威を振るっています。発刊の頃には、また様相が変わっているかもしれません。他の季節性の感染症への対応にも迫られて多忙な時期かもしれません。よく食べ、よく寝て、よく運動をして、十分な感染予防対策を行い、ご利用者はもちろん、職員も健康に過ごせるように気を付けてください。

(広報委員一同)

新潟県介護老人保健施設協会広報誌

「老健にいがた」第50号

編集・発行 新潟県介護老人保健施設協会
広報委員会

〒959-2805 新潟県胎内市下館字大開1522
介護老人保健施設やまぼうし内
TEL (0254) 47-3303
FAX (0254) 47-3370

URL <http://niigata-rouken.org/>

印刷 野崎印刷株式会社